

令和5年12月 川口市議会定例会

# 市長の所信と報告

川 口 市

本日、12月市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、公私にわたり大変ご多用の中、ご健勝にてご参集を賜り、厚く御礼を申し上げます。

また、先ほどは、令和4年度決算の認定をいただきまして、誠にありがとうございます。

提案理由の説明に先立ちまして、お許しをいただき、所信と市政に関する報告を申し述べたいと存じます。

はじめに、(仮称)東川口駅前行政センターについてであります。

私は、市民生活の安全・安心に加え、地域の皆さんの利便性の向上を図りたいとの思いから、(仮称)東川口駅前行政センターの整備を進めてきたところであります。その行政センターの建設が終了し、本日、無事引き渡しの日を迎えました。本市2カ所目となるこの行政センターは、東川口駅前に立地するアクセスの良さから、戸塚地域に限らず、安行地域や神根地域の方、JR武蔵野線や埼玉高速鉄道線を利用する方など、全ての市民の皆さんに便利に利用していただける施設であります。

私も現地を視察いたしましたが、室内は大変明るく、子育て世帯に配慮した授乳室やキッズスペース、地域の皆さんにも使っていただける会議室などを設置し、災害にも強い施設となっており、更には、平日の夜間や土日祝日も開所しますことから、市民の皆さんに利用しやすさを実感していただけるものと考えております。

また、戸塚やその周辺地域については、本年4月に地域を管轄する東消防署が開署したほか、令和8年度には、県へ働きかけてきた(仮称)川口北警察署の新設が予定されるなど、更なる行政サービスの拡充を図っているところであります。

引き続き、来年5月の開所に向けた諸準備に万全を期すとともに、市民の皆さんが、安全・安心で便利な生活を享受できるよう努めて参ります。

次に、令和6年度の予算編成について申し上げます。

「川口の元気」を生み出す、力強い当初予算を編成するには、安定的な歳入の確保が最も重要であります。このため、私は、歳入の根幹をなす市税収入の確保に、これまで一貫して取り組み、平成25年度は、90.6%と全国最低レベルであった市税収納率が、令和4年度には、98.1%と、7.5ポイント向上し、市税全体の収入額についても、平成25年度から令和4年度までの9年間の合計で、609億円の大幅増収となったところであります。

このように着実に確保した歳入により、私は、市長就任以来、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、3大プロジェクトの推進、子育て・教育環境の充実、市内経済の活性化、地域の課題解決に資する都市基盤整備、生物多様性に富んだ自然環境の創出など、様々なまちづくり施策を推し進めて参りました。

この10年の積極的なまちづくり施策の展開が、川口市政を飛躍的に前進させ、90周年という節目を迎えることができた実感しているところであります。

他方で、エネルギー、資材、食料品など、昨今の物価上昇は凄まじいものがあり、長引く物価高騰から市民生活や市内経済を守ることや、限られた財源の更なる効果的な活用という、新たな課題も生じております。

これらのことを念頭に、令和6年度の予算編成にあたっては、物価高騰に関する諸課題にしっかりと対処するとともに、今後も本市が「さらなる選ばれるまち川口」であり続けるため、変化する社会情勢や市民ニーズを見据えて、事業の選択と集中を徹底し、60万市民の目線に合ったまちづくり施策の推進に全力を尽

くして参る所存であります。

それでは、市政に関しまして、数点ご報告申し上げます。

第1点は、川口駅周辺のまちづくりについてであります。

本市では、昨年3月に策定した「川口駅周辺まちづくりビジョン」に基づき、川口総合文化センター・リリアの大規模改修や美術館の建設等の集客拠点の整備、拠点施設間の回遊性や滞在快適性の向上を図る「まちなかウォークブル」の推進、川口駅への中距離電車停車による鉄道輸送力の増強等の取り組みを進めているところであります。

こうした取り組みは、埼玉県が進める「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」の理念と合致するため、本年9月に「川口市版スーパー・シティプロジェクト 川口駅周辺まちづくりビジョンの実現に向けたまちづくり」として、エントリーをしたところであります。

加えて、川口駅周辺のまちづくりについては、居住者等の利便性向上に寄与するだけでなく、市内外から川口駅周辺に訪れる関係人口の拡大にも繋がるものであり、広域性の高い取り組みであることから、私は、去る11月20日に県庁に赴き、積極的な関与や財政的支援を求める要望書を直接知事に手渡し、知事からは、本市の取り組みは、県内市町村をリードするものであり、大変ありがたい旨や、県としても、可能な限り支援していきたい旨のコメントをいただいたところであります。

今後も、県との連携の強化を図り、更なる本市の発展に向け取り組んで参りたいと存じます。

第2点は、市内児童生徒の学力向上についてであります。

令和5年度の埼玉県学力・学習状況調査の結果が公表され、全14項目中10項目で県平均正答率を上回りました。平成27年度の調査では全14項目中6項目でありましたので、着実に高い水準で学力が伸びていることを実感しております。

私は、本市で学ぶ児童生徒には、しっかりとした学力を培い、未来の担い手として、自らの道を切り開き活躍してほしいと願っており、そのためには、児童生徒が健康で快適に学習に集中し、一人ひとりの可能性を最大限に引き出す最適な学びを提供する必要があることから、市内小中学校全教室へのエアコンの設置や中高一貫校の開校、全児童生徒へのGIGAスクール端末の貸与などの教育環境を充実させ、学力向上に取り組んで参りました。

また、中核市移行に伴い、本市が独自に教職員研修をできることとなり、市内小中学校の学習課題に合わせた研修を行うことで、教職員の指導能力の向上に努めてきたところであります。今回の結果は、こうした取り組みが実を結んだものと確信しているところであります。

今後も、川口市の未来を担う子どもたちの学力向上のため、子どもたちや保護者からの教育に対する様々なニーズや期待に応えて参ります。

第3点は、消防指令システム等の更新についてであります。

市民生活の安全・安心を確保することは私の使命であり、市民の皆さんの大切な生命と財産を守り、被害を最小限に抑えるためには、1分1秒でも早く災害現場へ緊急車両を到着させ早期に活動を開始することが極めて重要であります。

令和6年2月から運用開始を予定している新たな消防指令システムは、位置情

報を活用した災害場所の特定をはじめ、速やかな情報収集と情報伝達の機能を備え、迅速な出場指令を可能とし、指令管制室と災害現場がリアルタイムで詳細な情報を共有することにより、効果的な消防活動が期待できるものであります。

これに加え、119番通報者との連携により早期の応急措置等に繋げる「映像通報システム Live 119」の導入や、朝日環境センターの煙突最上部に市内全域を監視する高所監視カメラを設置し、災害時の被害状況の早期把握に努めるなど、重層的に機能の向上を図り、災害に備えているところであり、今後も、消防力の充実・強化への取り組みを進めて参ります。

第4点は、ワンルームマンションの管理体制の強化についてであります。

本市では、ワンルームマンションにおける居住者のごみ出しルール違反や自転車の放置等により近隣住民とのトラブルが生じていたことを踏まえ、平成28年6月に、「川口市ワンルームマンション等の建築及び管理に関する条例」を制定したところであります。

その後も、ワンルームマンションは増加しており、依然としてごみ出しルールの徹底がなされていないなど問題が解決に至っていない現状がある一方で、単身居住者が多く日中不在による宅配業者の再配達や、路上駐車増加による交通への影響など新たな課題が生じております。

こうした課題の解決のためには、私は、建築主等が管理体制の強化に取り組む責任があるとの考えから、今回、新たに建設する建築主等に対し、戸数に応じて敷地内に宅配ボックスを設置するほか、増加する外国人住民も含めた居住者に対し、多言語によるパンフレットを活用したゴミ出しルールの周知を義務付けるなど改善を図るものであり、関連条例について、今議会に提出いたしたところであ

ります。

今後も、規定に従わない場合には、勧告、命令及び公表を行い厳正な姿勢で対処するとともに、居住者と近隣住民の皆さんが良好な生活環境と住環境のもと、この川口で暮らしていただけるよう、管理体制の強化に努めて参る所存であります。

さて、今回提案いたしました議案は、予算議案6件、条例等の一般議案34件であります。

予算議案につきましては、一般会計において、自立支援給付事業等に係る6億3,252万1千円の補正を、特別会計では、国民健康保険事業特別会計をはじめ2会計において、1,920万9千円の減額補正などを、また、企業会計では、病院事業をはじめ3会計において、2,688万8千円の補正などを、それぞれお願いするものであります。

次に、一般議案であります、「川口市支所設置条例の一部を改正する条例」など、条例議案9件、契約議案4件、財産の交換議案1件、財産の取得議案1件、訴えの提起議案6件、公の施設の指定管理者の指定議案5件、市道路線の認定及び廃止議案5件、人事議案3件であります。

それぞれの議案内容につきましては、この後、副市長から説明を申し上げますので、慎重にご審議を賜り、ご可決下さいますようお願いを申し上げます。